

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

無料低額診療～学習交流会～

講師 西岡大輔先生
(大阪医科薬科大学医学研究支援センター医療統計室)

2023年
日付▶7月29日(土) 14:00～16:30(予定)
場所▶TKPガーデンシティPREMIU
仙台西口ホール7A ※会場参加のみを予定
お問 公益財団法人宮城厚生協会 経営企画室
合わせ 無料低額診療プロジェクト 小松(内線4311)

みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会
仙台市青葉区木町通1-8-18
〒980-0801 田村ビル5F
TEL 022-265-2601
FAX 022-263-8266
e-mail:dai@miyagi-min.com
発行人 坂田 匠
1日・15日 月2回発行 1部 50円

第49次辺野古支援連帯行動 戦争ではなく、共存の道を

古川歯科 医師 佐藤 修太郎



名護市の大浦湾

兵器が格納されている可能性が高いというお話を聴きとても驚きました。最後に、高江村の議員の方から現在もアメリカ軍の演習が住宅地のすぐ近くで敢行されており、たびたび、民家の庭に殺傷能力のある武器を持ったアメリカ兵が現れることがあると伺い、沖縄の現状を知り、驚嘆しました。

2日目は、辺野古基地建設に反対し、辺野古基地のゲート前で長年にわたり座り込みの抗議活動をされている方々にお話を伺いました。また、船で海上から辺野古基地建設の現状と、周辺の海を視察しました。辺野古の海は初めて訪れたのですが、色がエメラルドグリーンでサンゴも生息しており、とても綺麗な海なので、埋め立てて基地を建設するにはもったいないと感じました。最後はホテルで、日本全国のアメリカ軍基地と日本の

この3日間を通じて、戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて実感しました。また、いがみ合うのではなく、人類で協力して生きていくことが大切なのだと思います。

今年4月、帰還困難区域の一部にあたる特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されましたが、第一原発の立地する双葉郡大熊町では帰還して生活を再開している方々は住民登録のある1割にも満たないそうです。人気のほとんどない住宅地、手つかずで雑草の生い茂る田畑を目の当たりにして、そこに住む人々の故郷を奪つことになる原発を推進してきた政府と電力会社の罪深さを感じずにはいられません。

今、国会で成立が狙われている原発推進法案は、60年を超えた運転を可能とするものです。加えて、宮城県知事も早ければ一年後の女川原発再稼働を明言しています。事故前の生活とは程遠い現地を見てなお、原発の再稼働を肯定できる人がどれだけいるのでしょうか。推進法案反対、女川原発再稼働反対の声を広げていきましょう。



全日本民医連は、コロナ禍により休止していた「辺野古支援連帯行動」を再開しました。5月11日から13日に行われた第49次辺野古支援連帯行動に参加した古川歯科の医師、佐藤修太郎さんに寄稿いただきました。

沖縄を訪れるのは2度目でした。前は観光地だけをめぐりましたが今回は違う視点で沖縄を見ることができ、自分自身としても見分を広げることができた3日間だったと思います。

1日目は、嘉数高台公園を見学しました。公園内の嘉数高台からは普天間基地の滑走路を一望でき、離発着するオスプレイも見られました。普天間基地を見たのは初めて

だったのですが、想像以上に付近の住宅地と基地の滑走路が近接しており、航空機の騒音問題や安全性などの担保がなされていないのだと実感しました。また、公園内には沖縄戦で使用された防空壕や弾痕の跡も残っており、戦争の悲惨さを改めて感じました。

その後、「道の駅かてな」で隣接する嘉手納基地の航空機演習を展望し、また嘉手納弾薬庫には核

原発事故で奪われた故郷 再稼働反対の声を広げよう



県連事務局次長 石澤 旬

5月26日、福島県民医連が主催した東京電力福島第一原発視察が行われました。遠く高知民医連、兵庫民医連からも参加があり、宮城県民医連の坂田事務局次長と石澤を合わせて計7名の視察となりました。

道中の常磐道の空間線量計の最高値は常磐双葉ICの2.0μSv/hでしたが、原発構内をパスで移動し、原子炉建屋に近づくにつれて100μSv近くまで上昇していく様子は、「今なお人間が近づけないレベルの放射線を発し続けている現場」という事実を否心なしに自覚させてくれました。

その思いは、1号機から4号機までの建屋を眼下に望む俯瞰エリアで、作業員が立ち入ることのできない場所の作業を、

もう一つ、視察で感じた大きな違和感は、ALPS処理水の海洋放出は避けられないものとして進められている点でした。東電の理屈では①地下水の流入により増え続ける汚染水、②構内の汚

ロポットや調査装置で行っているのを垣間見た際にさらに強くなりました。今後は予定されている溶け落ちた燃料デブリの回収が予定されていますが、20m超の遠隔ロボットアームを用いて一回に耳かき一杯1グラム程度しか取れないとのこと。800トン以上と言われるデブリの回収作業だけでもどれだけの時間と労力が費やされるのでしょうか。回収の先に必要となる堅牢な保管設備など、課題が山積しており廃炉への遠い道のりを実感しました。

今年4月、帰還困難区域の一部にあたる特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されましたが、第一原発の立地する双葉郡大熊町では帰還して生活を再開している方々は住民登録のある1割にも満たないそうです。人気のほとんどない住宅地、手つかずで雑草の生い茂る田畑を目の当たりにして、そこに住む人々の故郷を奪つことになる原発を推進してきた政府と電力会社の罪深さを感じずにはいられません。

今年4月、帰還困難区域の一部にあたる特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されましたが、第一原発の立地する双葉郡大熊町では帰還して生活を再開している方々は住民登録のある1割にも満たないそうです。人気のほとんどない住宅地、手つかずで雑草の生い茂る田畑を目の当たりにして、そこに住む人々の故郷を奪つことになる原発を推進してきた政府と電力会社の罪深さを感じずにはいられません。



1号機建屋



線量計

健康手帳

暑くなってきたね。皆さんは水分補給はどうされていますか？水よりもすっきりする炭酸や、スポーツドリンクなどが多くありませんか。最近、水を飲むことによるメリットについて知る機会がありました。水を飲むことで脂肪燃焼、代謝をあげる、便秘解消、食欲抑制などの効果があるそうです。理想は1日2リットルですが、なかなかその量は難しいですね。私もチャレンジしてみました。特に味も香りもないので続きませんでした。でも、工夫をすることでおいしく飲むことができます。▼おすすめはフレイバー水です。スイカを入れるとむくみ解消、グレープフルーツで脂肪燃焼、キウイフルーツで腸内環境を整える、ブルーベリーで血流改善などがあります。その他に、フルーツの組み合わせで疲労除去やリラックス効果、アンチエイジングなどの効果もあるそうです。時々作っています。作り方はとても簡単で、500mlの水にフルーツを入れて一晩おいておくだけです。冷凍フルーツや市販のレモン汁を使うのもお手軽です。私のおすすめはレモン水。焼酎を割るのにも使えます。▼水に飽きたら時々炭酸水にするのも味変になります。お試しあれ。

「一緒に声をあげ、行動しましょう」



坂総合病院 地域健康課 行方 啓文

5月25日の午後は、県連の統一行動日でした。坂総合病院では、社保委員メンバーを先頭に、若手からベテラン職員、県連や宮城厚生協会本部を含めた14名を5組に分けて、病院周辺の家々へ

「憲法改悪反対」「マイナンバーカードと保険証一体化反対」などの署名用紙の入った封筒をポストにインクしました。

新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ変更になった現在ですが、感染対策の一環で、対面での聞き取りや署名行動ではなく、約1時間各ご家庭のポストに投函して回りました。

マイナンバーカードは、様々な問題(保険情報、受診履歴、接種履歴)を一元管理する仕組みです。憲法を改正し、個人の権利を侵害する恐れがあります。また、ロシアのウクライナ侵略も1年以上続いている状況です。憲法を改正し、個人の権利を侵害する恐れがあります。



職員1軒ずつポストに投函して回りました。

また、ロシアのウクライナ侵略も1年以上続いている状況です。憲法を改正し、個人の権利を侵害する恐れがあります。

船で診療圏めぐり

宮城民医労 副執行委員長 中川 恵介

5月1日、塩釜地方メーデーが港町公園を会場に、全体で280名(坂病院も含めた民医連事業所前)で、坂総合病院・つ

ばさ薬局多賀城店・事業協同組合では毎週水曜日朝の朝に下馬駅前、昼は坂総合病院敷地内で、長町病院は病院近くで、地域の皆さんとともにロシア

のウクライナ侵略戦争反対のスタンディング行動を行っています。みなさん何らかの形で声を上げたり、行動してみませんか?

所からは70名以上の参加で開催されました。パレード終了後は、メーデーにも参加した坂総合病院やつばさ薬局などの職員が、診療圏巡りと被災地フィールドワークを目的に、船を貸し切り、塩釜市の浦戸諸島周辺をクルージングしました。

例年とは違う形で交流をしつつ、船上ではクルーズスタッフから、患者さんが多く住んでいる桂島や野々島を中心に、住民の生業と暮らし、東日本大震災当時の様子とその後の支援、現在の状況などを詳しく話していただきました。天気も良く、良い取り組みになりました。

こういった形で地域に

私の好きな憲法は何条?

十符・風の音 副施設長 湯村 真和

ある記事を見ていた時に、憲法改定が行われようとしている中、日本が敵基地攻撃能力を持つことに賛成か、反対なのかを調査し、反対が圧倒的だと思えました。また、全国の子どもの医療費助成・無料化が進み、小学校卒業までの助成・無料化が97%、中学校卒業までが95%までになっています。一部では、高校卒業までの医療費の無料化が進んでいる地域もあります。そんな真逆の記事を見てみると、いのち、暮らしを守る取り組みが進んでいる一方で、軍備を拡大し、争いを始めようとする動きがあることに疑問を感じます。

先日、入居されているSさんが、岸田首相がウクライナに急遽訪問したことについて、「訪問した際のお土産になんて書いてあったか知っていますか? 『必勝』と書かれていたんですよ、信じられません!! 戦争を早期終戦に向かわせるために行

たのならば、絶対にそんなことを書いちゃいけないだよ、戦えと言っているのと同じですよ」と話されていました。

そんな中でも憲法9条の改定を推し進め、軍備力の増強が必要なものか考えさせられます。貧困で食事の回数を減らさなければならぬ学生が存在していること、年金だけでは生活がギリギリの高齢者が増加し、高齢者世帯の生活保護受給者の数が2010年には60万世帯でしたが、2021年度には91万世帯と増加していることをみれば、

社会保障へもっと目を向けるべきだと思います。

私の好きな憲法は13条の幸福追求権です。「すべての人間が互いを個人として尊重し、すべての人間が自由に幸せを追求する権利」は、今の生活に大きなことなのではないかと思えます。自分だけが幸せならよいではなく、お互いの幸福を考え、お互いが必要なのではないでしょうか。戦争は断固として反対、人が人を傷つけることのない、互いを称賛し考えながら、平和な暮らしを保証する権利を訴えていきたいです。



7つのマチガイ

[問題]上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります! どこでしょう? (作・野上和彦)



クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し県連事務局に送って下さい。メールは不可。フロッピーディスク、正解者に抽選で5人に図書カードを進呈いたします。余白に日頃考えている事などを書き添えて下さい。声の欄に掲載させていただきます。応募資格(臨時・パート含む)県連職員。締切7月15日。当日消印有効。発表8月1日。5月1日号答え「ジャカイン(社会人)・応募総数15件。当選者:鈴木桂子/長町病院、吉田真之介/坂総合病院、古岡佑磨/坂総合病院、北村明子/厚生福祉会、檀原涉/事業協同組合(敬称略)



本塩釜駅前をパレード

開始と同時に相談者の列、若い相談者も

4月30日、エル・パーク仙台ギャラリーホールで、「いのちと暮らしを守る」が開催されました。

生活困窮者を支援する県内の市民団体や法律事務所、宮城民医連、宮城民医連が主催で行われました。開始12時には15名以上の相談者が並び、終了の17時までに約30名が訪れました。相談内容は、パワハラ、生活困窮、債務、DV、離婚など多様で、年齢層は10代から70代と幅広く感じました。

県連からは、医師1名、看護師3名、SW4名、薬剤師1名、事務5名、医学生2名が参加しました。

県連の医療ブースでは、看護師やSWが相談者から聞き取り、体の不調を訴えた方は矢崎とも子医師が別室で問診をしました。厚生協会の高橋美智子統括看護部長は「医療に結びつく深刻な相談者はいなかったものの、身体症状を訴えた方を福祉につなげることは私たちの役目」と話されました。看護師の狩野由妃さんは「相談者を医療から

がどんな医療をしたいのかを発信することの重要性を学習しました。来年度以降もこうした事前準備を行いつつ、社会保障改善に向けた運動を進められるようにしたいと思います。

生活保護へ渡すことができた。自己責任ではどうにもならない問題に、このような取り組みは必要と思えました」と話されました。

【お詫言と訂正】6月1日号の「減塩をテーマにパネルディスカッション」の執筆者が抜けていました。坂総合クリニック・検査室臨床検査技師の日野重子さんです。未掲載をお詫言いたします。

相談を聞く看護師(左)とSW(右)

生活保護へ渡すことができた。自己責任ではどうにもならない問題に、このような取り組みは必要と思えました」と話されました。